

【特性を生かした安らぎと活力のある地域づくり(暮らし)】

ぎまがわ くめしま
儀間川総合開発事業(久米島町)

1 概要

久米島町は台風常襲地帯であり、大雨による浸水被害が多発しているため、ダム等による治水対策を進めています。また、水道用水とかんがい用水は同じため池を主な水源としています。このため、毎年夏場の渇水時には水道用水を最優先に確保するため、かんがい用水が確保できず、基幹産業であるサトウキビ畑の干ばつ被害が頻発しており、新たな水源の確保が求められています。

以上のような洪水被害と渇水被害の対策として、儀間川総合開発事業が計画され、これまで平成2年度から実施計画調査を実施し、平成13年に河川整備基本方針、河川整備計画を策定しました。平成16年度から建設事業に移行しています。完成目標年度は平成26年度となっています。

完成・新規・継続の区分
継続

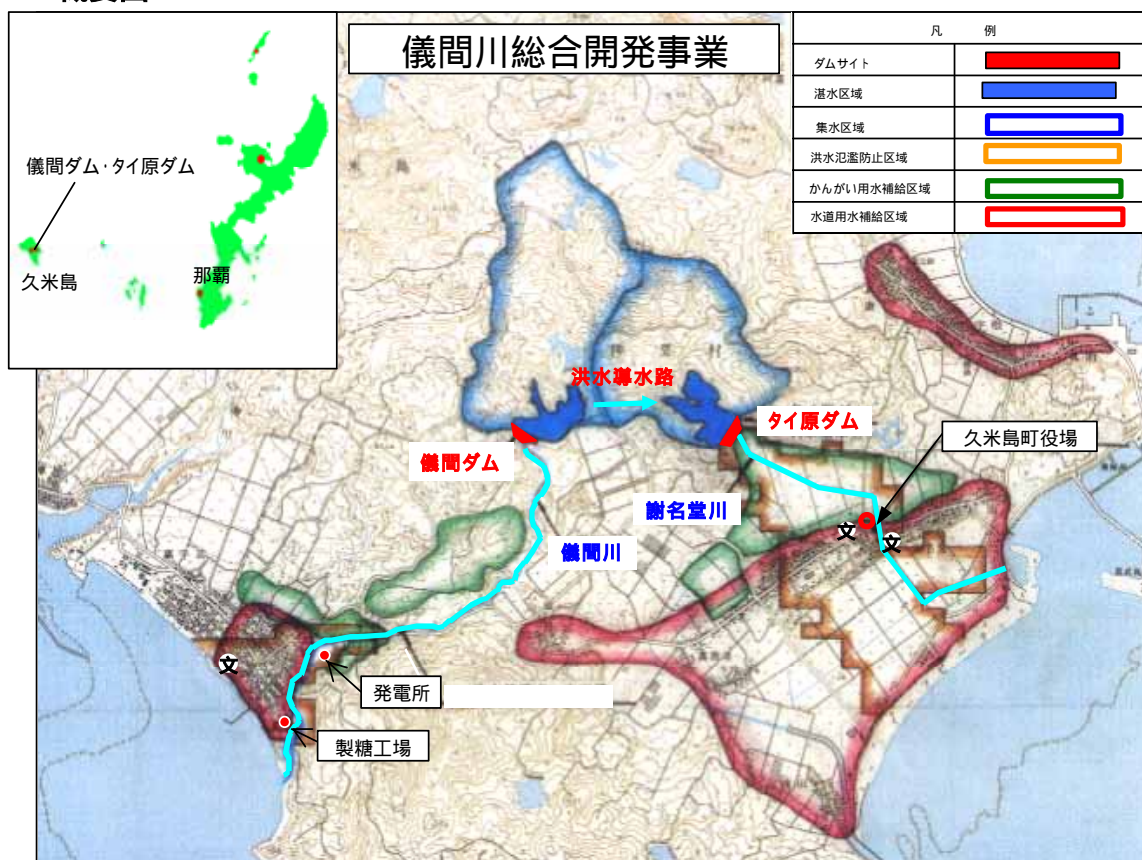
事業区分(直轄・補助)
補助

事業着手年度
平成16年度(建設事業)

完成予定年度
平成26年度

平成20年度事業費
1,519百万円

概要図



2. 平成20年度の整備内容

儀間ダム本体工事を継続するとともに、ダム建設に必要な諸調査・用地取得を実施します。

- 【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】
- 【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

安里川広域基幹河川改修事業の整備促進
～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

蛇行した狭小な安里川は、那覇市の中心市街地を流れています。昭和47年度に河川改修に着手し、多発する浸水被害の解消を目指し、下流から順次河川整備を実施しています。平成20～21年度は、最も浸水が多発する区域において、牧志・安里再開発地区の整備と一体となった河川整備を行う予定としています。また、当該地区は平成19年3月に「水辺プラザ」の登録を受けており、人々の交流や観光の拠点となる「賑わいのある河川空間」として整備を行います。

なお、安里川水系では、これまでに治水対策として洪水調節施設（金城ダム平成12年度完成、真嘉比遊水池平成13年度完成）を建設済みです。

完成・新規・継続の区分
継続

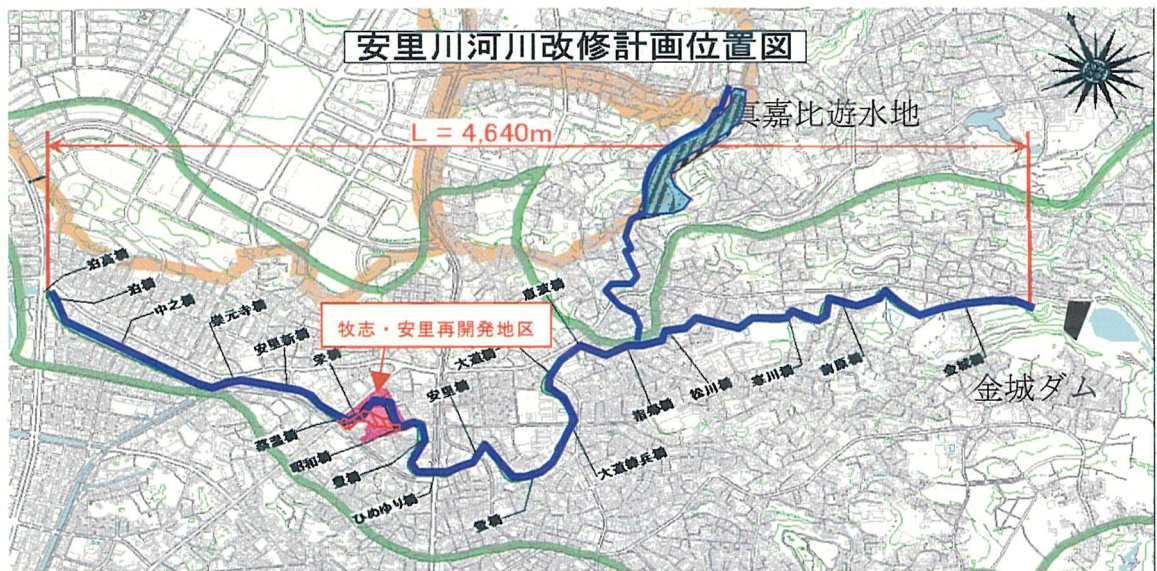
事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
昭和47年度

完成予定年度
平成27年度

平成20年度事業費
910百万円

概要図



牧志・安里再開発地区整備イメージ



再開発地区
土地利用計画

2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、蔡温橋の完成を図るとともに、牧志・安里再開発地区の護岸整備や用地補償、蔡温橋下流右岸側の護岸整備等、重点投資し整備の進捗を図ります。

【沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出（環境）】

【特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり（暮らし）】

国場川広域基幹河川改修事業

～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

国場川は、流域面積43km²、流路延長11.25kmの沖縄県では比較的大きな都市河川であります。昭和47年度に河川改修に着手し、流域内の都市化の進展による保水機能の低下や流下能力不足により多発する浸水被害の解消を目指し、下流から順次河川整備を実施しています。河川整備計画延長8.25kmうち、平成17年度までに河口から下茂橋までの約5.7kmの那覇市区間整備を概成し、平成18年度からその上流の南風原町区間の整備に着手しています。

国場川は都市部の貴重な水辺空間であることから、川沿いに親水性の高い魅力ある歩行空間を形成し、地域住民に広く親しまれ利用される河川整備を行います。

完成・新規・継続の区分
継続

事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
昭和47年度

完成予定年度
平成27年度

平成20年度事業費
440百万円

概要図



憩いの親水テラス(イメージ図)



賑わう沿川(イメージ図)

2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、大型商業施設付近において親水性を高めた護岸整備を行うとともに、太子橋上流の護岸整備や用地補償を行い、整備の進捗を図ります。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

熱田地区地すべり対策事業（北中城村）の整備促進
～平成20年度 新規事業～

1. 事業概要

当該地区は、北中城村字熱田に位置する東向き斜面で、変動を示す滑落崖や斜面上部の住宅地におけるブロック塀の亀裂等の変状が確認されている。平成13年には集中豪雨により斜面崩壊が発生し、流出土砂が熱田自治会内の水路を埋め、国道329号まで達した。斜面の上下部には人家が密集し、村道が存する。村道は通勤・通学等、生活道路として利用されていることから、斜面の地すべりを防止することにより、住民の生命、財産を守り、村道の安全を確保する。

完成・新規・継続の区分
新規

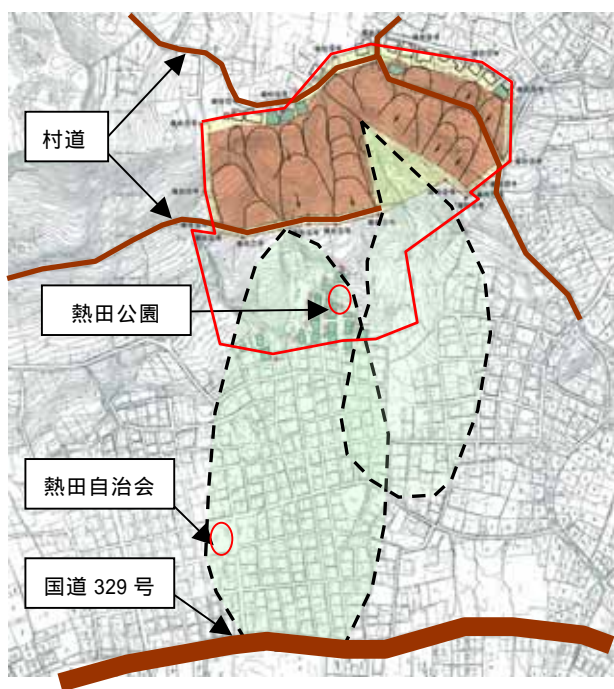
事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成20年度

完成予定年度
平成29年度

平成20年度事業費
50百万円

概要図



H13年度被災状況



2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、実施設計及び排水工の施工を行う予定です。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

渡久地地区急傾斜地崩壊対策事業（本部町）の整備促進
～平成20年度 完成事業～

1. 事業概要

当該地区は、沖縄本島北部の本部町渡久地地区に位置し、斜面下部に保全対象となる人家が27戸および県道219号線が存在する急傾斜地である。

本事業により保全される県道219号線は、年間168万人の利用者が見込まれる国営沖縄記念公園へのアクセス道路となっていることから、地域経済へのダメージ及び住宅等を保全するため、土砂災害を防止する急傾斜地崩壊対策事業による対策を実施する必要がある。

完成・新規・継続の区分

完成

事業区分（直轄・補助）

補助

事業着手年度

平成15年度

完成予定年度

平成20年度

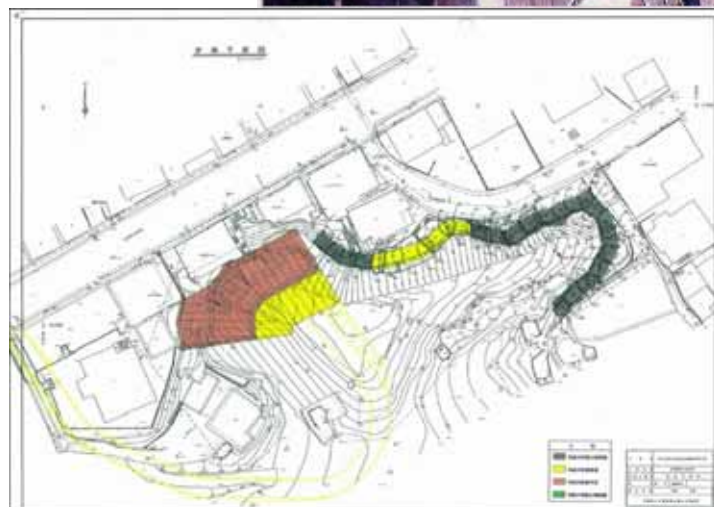
平成20年度事業費

10百万円

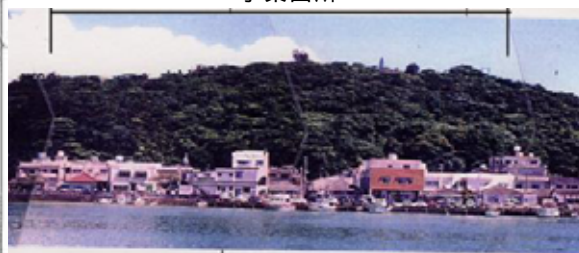
概要図



事業箇所



事業箇所



2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、法面工の施工を実施し、平成20年度完成を目指します。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

安里地区特定緊急地すべり対策事業（中城村）の整備促進
～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

当該地区では、平成18年6月10日に大規模な地すべりが発生し、村道及び県道が被災し、斜面下の住宅付近まで流動化した土砂が流入、82世帯が避難し、現在も7世帯19名が避難している。

地すべりが発生した斜面に隣接する場所には亀裂等がみられ、このまま放置すると再度、斜面上下部の住宅及び斜面中腹にある県道に甚大な土砂災害を引き起こすおそれがある。

当該地区の被害想定区域には、保全人家82戸、当地区の公民館、村道坂田線、県道35号線及び国道329号がある。

よって、住宅等の安全を確保するため、地すべり対策を実施する。

完成・新規・継続の区分
継続

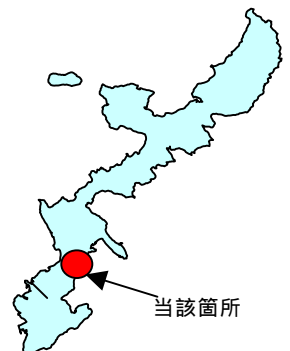
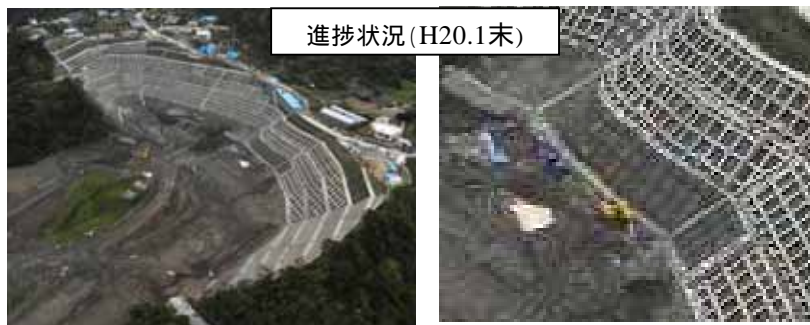
事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成19年度

完成予定年度
平成21年度

平成20年度事業費
140百万円

概要図



2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、法枠工の施工を行う予定です。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

新川地区地すべり対策事業（南風原）の整備促進
～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

当該地区は、平成11年に大規模な地すべりが発生した斜面(中央育成園)に近接し、平成17年6月に梅雨前線豪雨による斜面崩壊が発生した。斜面には亀裂や滑落崖がみられ、斜面上部の町道には土塊の斜面側への移動による亀裂が生じており、このまま放置すると、甚大な土砂災害を引き起こすおそれがあることから、平成18年7月に土砂災害警戒区域の指定を行った。

当該地区の被害想定区域には、保全戸数68戸、当地区の集会所及び避難場所である小学校がある。よって、住宅、避難場所等の安全を確保するため、地すべり対策を実施する。

完成・新規・継続の区分
継続

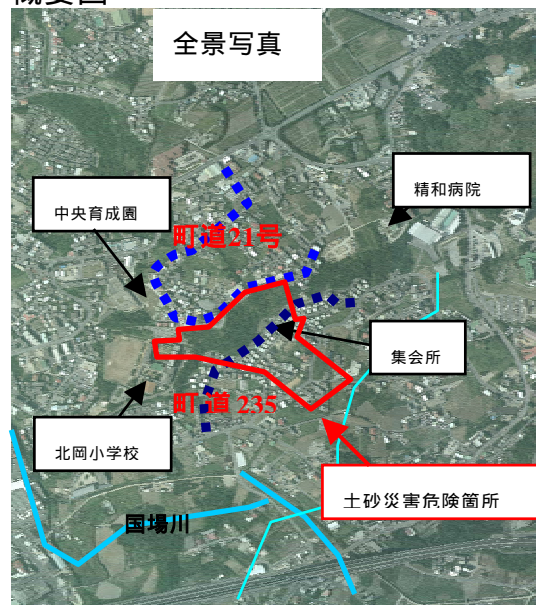
事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成19年度

完成予定年度
平成24年度

平成20年度事業費
45百万円

概要図



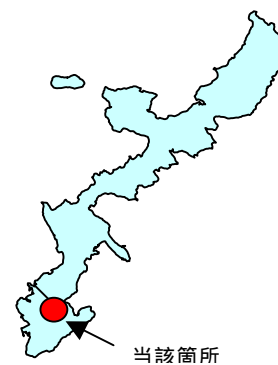
北岡小学校(避難場所)



斜面崩壊状況



斜面上部



当該箇所

2. 平成20年度の整備内容

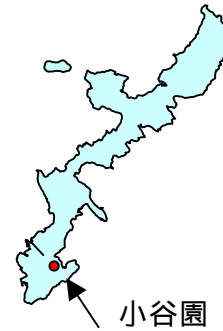
平成20年度は、抑止工の施工を行う予定です。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり(安全)】

小谷地区地すべり対策事業(南城市佐敷)の整備促進
～平成20年度 継続事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>当該地区は、沖縄本島南部の南城市西部に位置し、地形は標高 170m 程度の全体に緩やかな起伏を示す丘陵地で、斜面自体に地すべりの兆候と見られる小崩壊や亀裂等が多数見られる。また、斜面下には災害弱者関連施設の特別養護老人ホーム小谷園が存在するが、平成7年3月と6月、平成17年6月に施設背後の斜面が崩壊して施設に被害をもたらした。今後の土砂災害を未然に防止するために地すべり対策事業による対策を行うものです。</p>	完成・新規・継続の区分	継続
	事業区分(直轄・補助)	補助
	事業着手年度	平成17年度
	完成予定年度	平成21年度
	平成20年度事業費	80百万円

概要図



小谷園背面土砂崩壊

平成17年6月の被災状況



仮設防護柵の設置
被災直後



仮設施工後の状況



2. 平成20年度の整備内容

平成20年度は、抑制工及び抑止工の整備を行う予定です。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

伊原地区通常砂防事業（南城市）の整備促進
～平成20年度 継続事業～

1. 事業概要

当該地区は、沖縄本島南部南城市の北方に位置し、土石流危険箇所と地すべり防止区域が混在した地域である。
平成18年6月の豪雨により山腹崩壊が発生し、既設排水路及び農道が被災し、平成18年度災害関連緊急砂防事業の採択を受け山腹崩壊対策を実施しているが溪流に係る土石流対策が未整備である。また、現在も島尻泥岩層が攪乱した状態で風雨にさらされ、溪流が浸食(山腹崩壊)が発生していることから、砂防えん堤の整備を行い、溪岸浸食等による2次災害を防止し、集落、市道、耕地を保全する。

完成・新規・継続の区分
継続

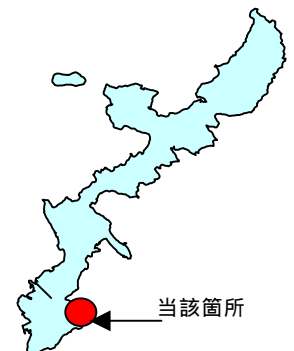
事業区分（直轄・補助）
補助

事業着手年度
平成18年度

完成予定年度
平成22年度

平成20年度事業費
40百万円

概要図



2. 平成20年度の整備内容

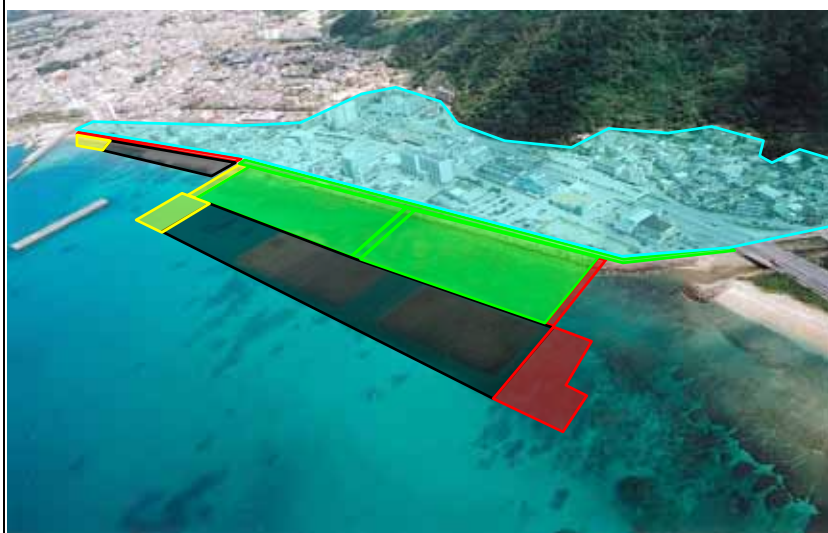
平成20年度は、砂防えん堤本体工の施工に着手します。

【安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり（安全）】

東江海岸高潮対策事業
～平成20年度 継続事業～

<p>1. 事業概要</p> <p>当該事業は、高潮等による越波を防止し、背後地の保全を図ることを目的に名護市東江地先において人工リーフ、堤防、突堤等を整備するものです。</p> <p>平成20年度には漁港側を完了する予定です。</p>	完成・新規・継続の区分 継続
	事業区分（直轄・補助） 補助
	事業着手年度 平成13年度
	完成予定年度 平成22年度
	平成20年度事業費 510百万円

概要図



■	H18年度以前
■	H19年度
■	H20年度
■	H21年度以降



台風による越波状況



台風による越波状況

平成20年度の整備内容

平成20年度は、人工リーフL=60m、突堤1基、防潮林（漁港）L=450mの整備を行う予定です。